

いといがわ防災ステーション の構築に向けて



令和6年12月10日

糸魚川市産業部商工観光課
主査 宮路省平

糸魚川市の紹介・アクセス



人口 **38,120人**
世帯数 **17,012世帯**
(2024.11.01現在)

紺碧の日本海から、北アルプスの山々まで壮大なスケールで広がる緑の大地。

新潟県糸魚川市には、2つの国立公園（妙高戸隠連山、中部山岳）と3つの県立公園（久比岐、白馬山麓、親不知子不知）があり、その豊かな自然は、訪れた人を圧倒し、魅了します。

清浄な水と空気、湧き出でる温泉、新鮮な魚介類、自然の営みがもたらす恵みは、私たちの暮らしをやさしく包み、うるおいを与えてくれます。

そして、平成21年8月には「糸魚川ジオパーク」が日本初の世界ジオパークに認定、平成27年3月には北陸新幹線糸魚川駅が開業し、首都圏や北陸方面からのアクセスがさらによくなりました。

TOKYO東京
OOSAKA大阪
KANAZAWA金沢
TOYAMA富山
NIIGATA新潟
NAGANO長野

新幹線 2時間
特急+新幹線 4時間10分
新幹線 50分
新幹線 30分
特急+電車 2時間30分
新幹線 40分

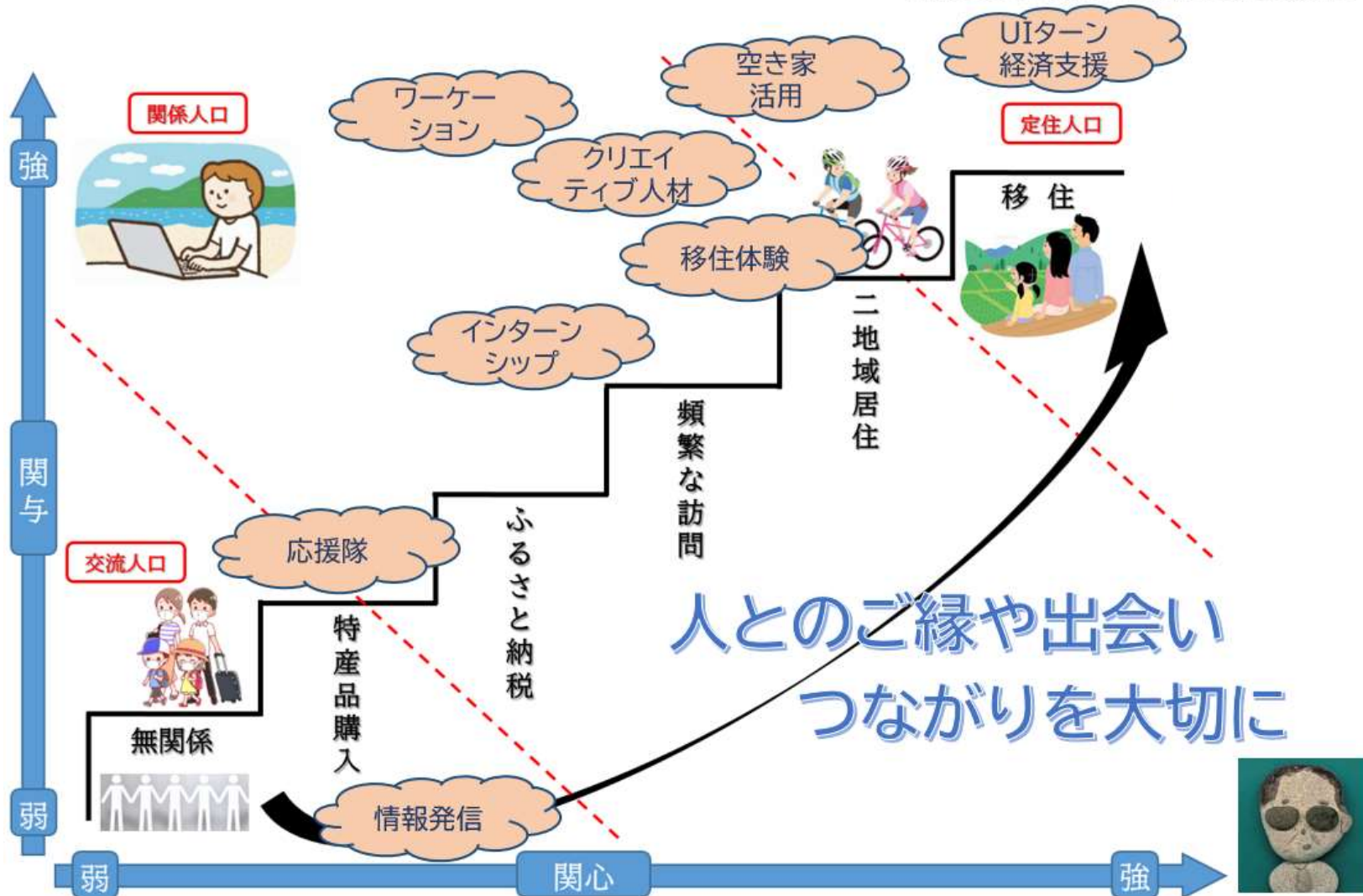


糸魚川市が目指す企業誘致・定住促進策

参考まで

糸魚川市が目指す「関係人口から緩やかな移住」の姿

※総務省及び小田切徳美明治大学教授の資料を参照し作成



防災ワーケーション【自然災害からのレジリエンス】

自然災害大国日本における 自然の「恵み」と「脅威」を体感する2泊3日のワーケーションプログラム

2016.12.22 糸魚川駅北大火



その他、雪崩災害、噴火災害、地すべり等を教訓としたプログラム造成

防災学習



フィールドワーク



被災体験談



歴史学習

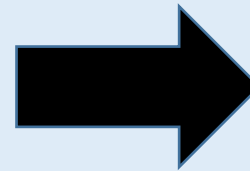


いといがわ防災ステーションの構築に向けて①

防災ワーケーションプログラムを造成したものの関心を示す企業が少ない
→地域課題として「チャレンジ！つながるニッポン」に応募



企画提案



にいがた防災ステーションとは・・・

防災産業の拠点化に向け、新潟県が設置したプラットフォーム
様々なプレイヤーが新潟県に集積し、ビジネスプロジェクトを組成

いといがわ防災ステーションの構築に向けて②

いといがわ防災ステーションの構築に向けて防災ワーケーションを実施
→にいがた防災ステーションに参画する企業とIT企業とのマッチング機会創出

糸魚川市 × 新潟県 × 日本テレワーク協会 コラボイベント開催

「食とITで事業継続！体験・交流イベント」
～災害食×サプライチェーンセキュリティ×防災デジタル
ヒューマン(AI)を活用し事業を継続させる！

開催日程：11月7日（木）～8日（金）

開催内容：防災をテーマとした各種トラック（7日）
防災学習（8日）

食とITで事業継続！体験・交流会

頻発する大規模災害でいかに事業を継続させるか、災害食、サプライチェーンセキュリティ、デジタルヒューマン(AI)の体験・交流会を、山火災害50年を迎える糸魚川で開催します。

日時 11月7日(木) 13:00～18:00 **定員** 40人(先着)

会場 糸魚川市市民会館
〒941-0056 糸魚川市一の宮1-2-1 ※駐車場あり

対象者 ・にいがた防災ステーション会員、いといがわ防災ステーション参加者
・上記参加企業・団体の総務(災害食担当)情報システム担当(IT/IT/IT/AI担当)※
・テーマに関心がある企業・団体、自治体 ※オンライン参加別途ご相談

参加のメリット ・IT防災として、世界的セキュリティ企業から対策が開ける
・デジタルヒューマン(AI)をリードする協議会から防災活用例が開ける
・交流会等を通じて参加団体と関係性が深まり、事業展開につながる

プログラム

- 1 災害食トラック**
 - ・企業における災害食「必要な備え3ポイント」(講演)
 - ・災害食メーカーによるプレゼン、実食訓練 2次避難(防災グッズ) 事例発表
- 2 サイバー防災トラック**
 - ・サプライチェーン攻撃の事例や解説、セキュリティ対策(講演)
 - ・サイバーセキュリティ攻撃の疑似体験、対策のプレゼン
- 3 防災デジタルヒューマン(AI)トラック** ※デジタルヒューマン(AI)については別冊参照
 - ・BCP実行社員としての防災デジタルヒューマン(AI)活用の可能性(講演、デモ)

■終了後に交流会・翌日に学習ツアーを予定しています(詳細裏面)
※交流会及びツアーは自由参加となります。食事の費用は自己負担となります。

申込 申込フォームからお申込みください【10/11(金)〆切】
URL <https://forms.gle/RduwK9m5cmgD3oyA7>



いといがわ防災ステーションの構築に向けて③

災害食トラックでは、にいがた防災ステーションと連携した研修の場を提供
→災害食を製造する事業者と災害食を備える企業とのマッチング機会創出



講演



災害食



講演：企業における災害食「必要な備え3ポイント」
日本災害食学会副会長 別府 茂 様

災害食提供・商品紹介：

- ①株式会社ホリカフーズ 様
- ②有限会社エコ・ライス新潟 様

実食訓練



IT企業との意見交換



事例発表：2次避難（防災ツーリズム）
兵庫県新温泉町
商工観光課長 福井 崇弘 様

いといがわ防災ステーションの構築に向けて④

サイバー防災トラック、防災デジタルヒューマントラックでは、サプライチェーンやセキュリティに関して、業界トップリーダーから参加者に対し研修の場を提供

【サイバー防災トラック】

- ・ サプライチェーン攻撃の事例や解説、セキュリティ対策
株式会社クロスポイントソリューション 様
- ・ サイバーセキュリティ攻撃の疑似体験、対策
 - ①サイバーリーズン合同会社 様
 - ②株式会社ハイパー 様

【防災デジタルヒューマントラック】

- ・ BCP実行社員としての防災デジタルヒューマン
デジタルヒューマン協議会 様

事例解説



疑似体験



商品紹介



講演



いといがわ防災ステーションの構築に向けて⑤

二日目の防災学習ツアーでは、焼山噴火災害50年のため現地をフィールドワーク
→災害・防災と食の関連性について、地域住民や生産者、市学芸員から解説

- ・ 災害と食の関係を学ぶ～巨大わさびのひみつ～
有限会社S Kフロンティア 様
- ・ なぜここで、あの災害が発生したのか
～専門家が解き明かす災害、防災の現地学習
①糸魚川市学芸員 小河原 孝彦
②焼山愛好会 樋口 善栄 様
- ・ 持続可能な農業を目指す農園レストラン
murir 様

生産者見学



ジオパーク学習



取組紹介



ランチ



■イベント実施を通じて

- ①糸魚川市をフィールドに、IT企業は災害食に関する知識を、地場の企業は情報セキュリティに関する知識を獲得
- ②参加者相互において、異業種のマッチング機会を創出
- ③災害のメカニズムを学び、災害に備える市民生活や地域課題の知ることができる。
- ④ワーケーションの実践や災害と食の関連性を学ぶことにより、社員のエンゲージメント向上

糸魚川市ワーケーションポータルサイト

防災ワーケーションのほか、親子やジオフードをテーマとしたワーケーションプログラムも紹介しています。 関心があればご覧ください。

プロモーション動画紹介



モデルコース紹介



施設紹介



「あえて、糸魚川」で
検索



日本海シーサイドテレワーク
ITOIGAWA WORKATION STYLE

新たなワーク&コミュニティスペース

国の地方創生テレワーク交付金を活用し、新たなワーク&コミュニティスペースが誕生

美山多目的集会施設「クラブハウス美山」



SAN_AIワークス

